

夢に向かって!

研究部（名古屋市道德研究会）活動紹介

名古屋道德教育研究会の研究部（市道研）では、多くの先生方が道德科の授業づくりについて熱心に共同研究を進めています。その活動の様子を紹介します。

小学校低学年・中学年研究部会 動作化等の表現活動を取り入れた実践 小学4年 B 相互理解・寛容

【教材名】 学級会での出来事（出典：光村図書『きみがいちばんひかるとき 4年』）
【ねらい】 みんなで話し合いをするときに、どんなことを心掛ければよいかについて気付かせ、自分とは異なる意見にも耳を傾け、よりよい関係性を築こうとする実践意欲と態度を育てる。

みんなと創る楽しい道德科の学習のポイント

学級会の様子を動作化により再現させることで、自分の意見を取り下げた「あずさ」の気持ちを共感的に捉えられるようにしました。授業の後半では、「あずさ」が悲しくないような話し合いの仕方を考えさせた上で、学級会の様子を演じさせることで、話し合いの際に大切なことに気付かせることができるようにしました。

動作化の様子



※ 動作化によって、学級の様子を再現させる。
T：あずささんは、どんな気持ちだったでしょう。
C：もう嫌だ。
C：言わなければよかった。
C：みんな聞いてくれなくて嫌になる。

小学校高学年・中学校研究部会 「人物教材」を活用した実践

中学3年 D 生命の尊さ

【教材名】 あふれる愛（出典：教育出版『とびだそう未来へ 3年』）
【ねらい】 マザー＝テレサの愛にあふれた生き方から生命の尊さを理解させ、かけがえのない生命を尊重し合いながら生きていこうとする

人物との距離を縮めるために



思わず考えなくなる工夫

【工夫1】

★人物の心の弱さに目を向ける
→人物に親近感をもたせる

【工夫2】

★自分と人物を比較する
→共通する思いを探らせる

人物の行動面における偉大さではなく、思いで共通する点を考えさせます。

自己を見つめる活動

自分とマザー＝テレサを比較して、共通する思いを探してみよう。

【生徒の記述より】

・自分はやっぱり恐怖心が勝ってしまっただけ助けないと思うからそんな思いより、助けたいという思いの方が強いマザー＝テレサはすごいと思う。
・自分はマザー＝テレサみたいな聖人ではないし、心も強くないから行動までは移せないけれど、助けたいという気持ちは同じかなと思った。

道德科授業研究（公開授業） 小学2年 B 親切、思いやり
10月20日（火）、柴田小学校において、水谷祐基先生による公開授業を行いました。感染拡大防止の観点から、ビデオ撮影による公開授業という異例の形態で実施しました。小学校低学年・中学年研究部会を中心に検討を重ね、当日に至りました。

【教材名】 ぐみの木と小鳥（出典：光村図書『きみがいちばんひかるとき 2年』）
【ねらい】 相手のために行動することが大切であることに気付かせることで、身近にいる人に温かい心で接し、親切にしようとする心情を育てる。

体験的な学習（役割対話活動）を取り入れた指導

ペープサートを使って、小鳥の葛藤や決意の根拠を問う「ぐみの木」役と、その問いを受けて思いを伝える「小鳥」役に分かれて対話をしました。

ぐみの木役

C1：嵐が止んでからにしてくださいね。

C1：なぜそこまでして行こうとするのですか。

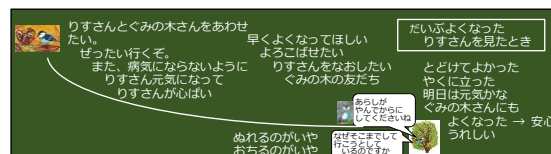
小鳥役

C2：僕が行かなくてはいけないのです。

C2：行かないと、また病気になるかもしれないから。

板書により視覚化する工夫

「役割対話活動」での児童の考えを視覚化して、授業で扱う「思いやり」について考えを深めました。



合同学習会 毎回、テーマを決めてアイデアを出し合い、学習会を行っています。

<教材提示のひと工夫>

① ペープサートの活用

【例】「かぼちゃのつる」（出典：光村図書『きみがいちばんひかるとき 1年』）
主人公のかぼちゃがつるを伸ばして威張る表情や、つるが切れて泣いている表情をペープサートの表裏の変化で表すことができます。

② パワーポイントの活用

【例】「あなたは どう思う？」（出典：県教振『明るい心 4年』）
パワーポイントで挿絵を見せながら、教材の概要を紙芝居風に提示することで、視覚的に教材理解を促すことができます。

★ 中学校で活用していただけるワークシートを、名道研のホームページに掲載しています。ご活用ください。➡meidouken.com

★ 研究発表会のお知らせ

令和3年1月26日（火）14時45分～ 教育館1・2・3研

※ 12月7日現在の予定です。今後変更することもあります。